

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2024 年 第 26 週（6 月 24 日～6 月 30 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	4 人 類型 患者 2 人、 無症状病原体保有者 2 人 血清型 O157 1 人、O26 1 人、 O91 1 人、不明 1 人
四類感染症 E 型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
マラリア	1 人 病型 熱帯熱
レジオネラ症	3 人 病型 肺炎型 3 人
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3 人 菌種 <i>Enterobacter</i> sp 2 人、 <i>Morganella</i> sp 1 人
急性脳炎	1 人 病原体 不明
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 人 血清群 A 群 2 人、B 群 1 人、 G 群 1 人
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 AIDS
侵襲性肺炎球菌感染症	3 人
梅毒	12 人 病型 早期顕症Ⅰ期 7 人、 早期顕症Ⅱ期 2 人、 無症状病原体保有者 3 人
百日咳	2 人 年齢階級 4 歳 1 人、20 歳代 1 人

## &lt; 定点把握対象疾患の患者情報 &gt;

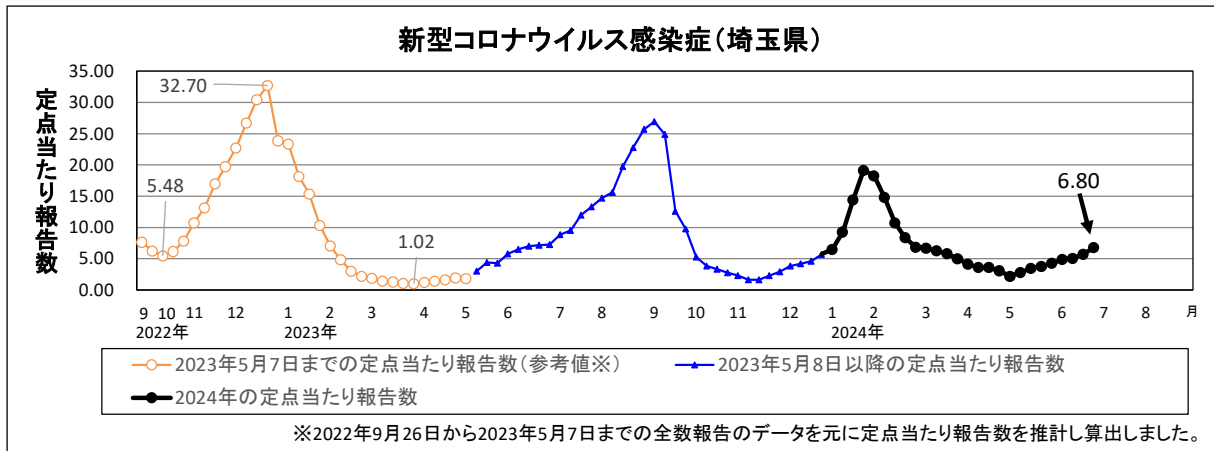
新型コロナウイルス感染症（5. 68→6. 80：図 1）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、草加（11. 63）、幸手（11. 07）保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は 44 人（前週 42 人）であった。手足口病（7. 04→12. 51：図 2-1, 2）の定点当たり報告数は、前週から更に大きく増加し、県内全保健所管内で警報開始基準値の 5. 00 を上回った。保健所別では、春日部（20. 33）保健所管内からの報告が非常に多く、南部（5. 40→16. 20）保健所管内で前週より大きく増加した。年齢階級別では、1 歳及び 2 歳からの報告が多く、全体の約 58% となっている。ヘルパンギーナ（1. 42→2. 62：図 3-1, 2）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、南部（1. 20→6. 80）保健所管内で大きく増加し、熊谷（6. 29）、川口市（6. 00）保健所管内からの報告も多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（4. 29→4. 10：図 4）の定点当たり報告数は、第 21 週以降減少傾向にあるが、引き続き高い水準にある。保健所別では、春日部（11. 67）、幸手（8. 78）、南部（8. 40）保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 5 人、流行性角結膜炎 48 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 1 人、マイコプラズマ肺炎 2 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

（URL：<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>）で御覧いただけます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第26週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 手足口病の定点当たり報告数の推移

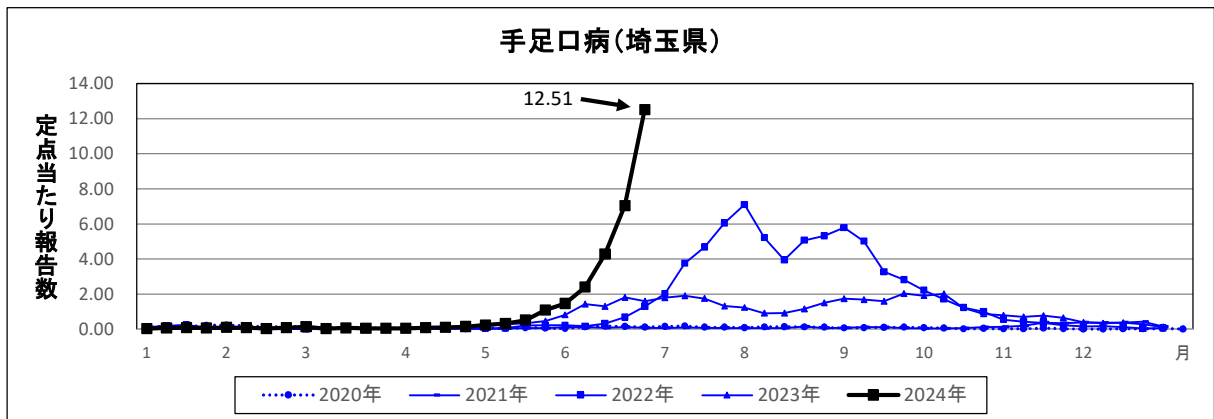


図2-2 手足口病の保健所別流行状況の推移（2024年第24週～第26週）

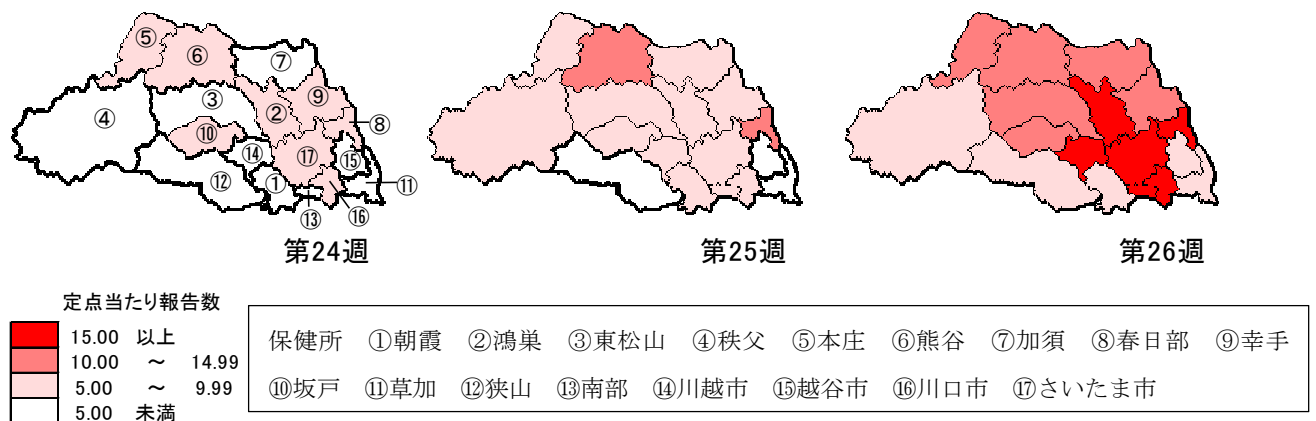


図 3-1 ヘルパンギーナの定点当たり報告数の推移

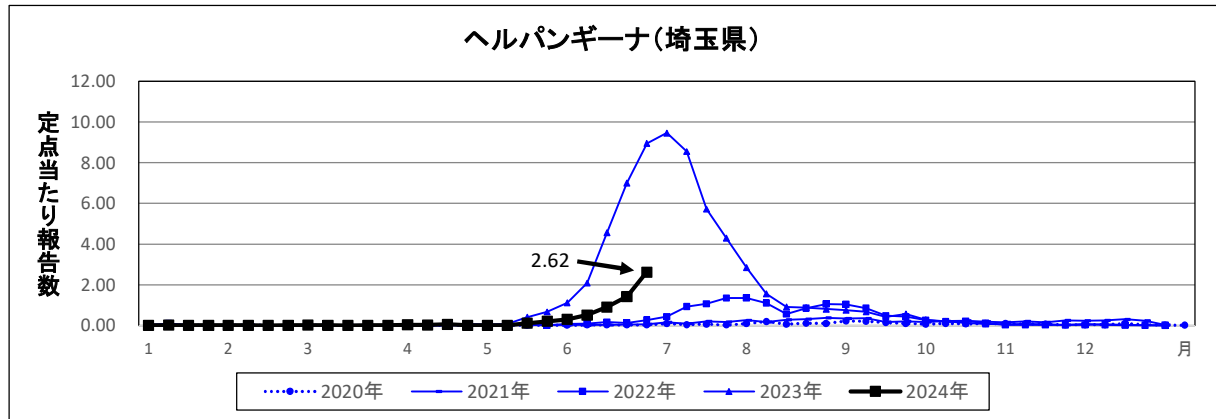


図 3-2 ヘルパンギーナの保健所別流行状況の推移 (2024年第24週～第26週)

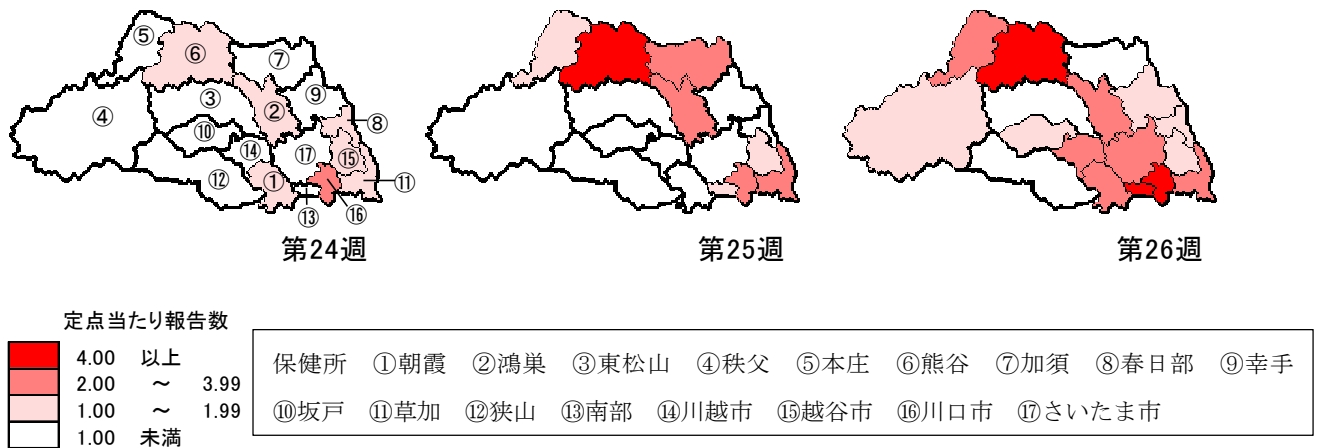
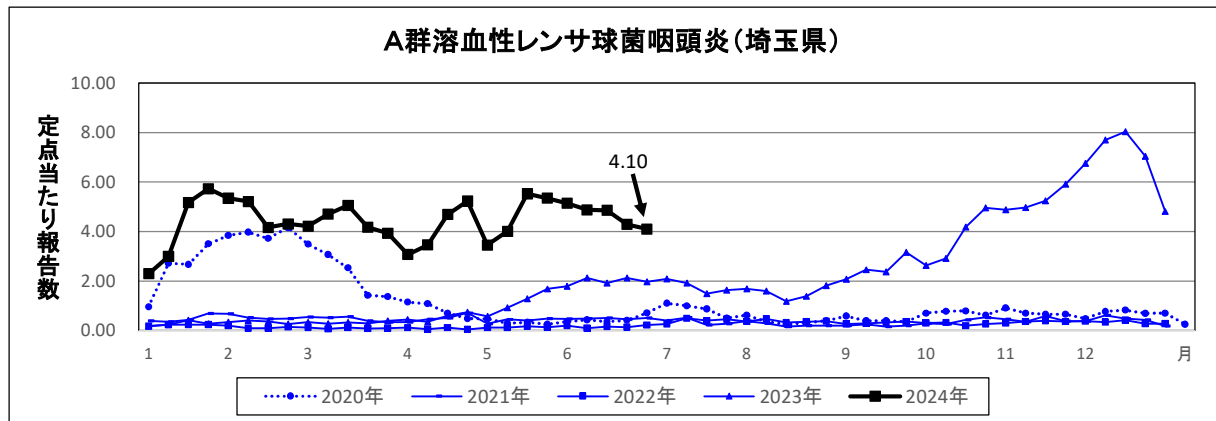


図 4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第26週)

(2024年7月2日 16:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	4	62			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎	1	23	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムボックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア	1	1
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	3	51
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		5	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢		13	侵襲性肺炎球菌感染症	3	52
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		6	水痘(入院例に限る)		1
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	39	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	12	220
急性脳炎	1	15	播種性クリプトコックス症		6
クリプトスポリジウム症			破傷風		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	75	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	19	百日咳	2	32
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		14	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第26週

6月24日~6月30日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数 28	1,754	115	126	664	837	68	2,027	11	70	425	20	5	48	-	1	2	-	-	-	-	44
	0.11	6.80	0.71	0.78	4.10	5.17	0.42	12.51	0.07	0.43	2.62	0.12	0.12	1.14	-	0.08	0.17	-	-	-	-	3.67
朝 霞	報告数 1	172	10	7	49	85	9	127	2	5	30	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4
	0.04	7.48	0.67	0.47	3.27	5.67	0.60	8.47	0.13	0.33	2.00	0.13	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	4.00
鴻 巣	報告数 2	177	8	15	38	79	-	206	-	3	44	1	-	4	*	*	*	*	*	*	*	*
	0.11	9.32	0.67	1.25	3.17	6.58	-	17.17	-	0.25	3.67	0.08	-	1.33	*	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 1	36	4	1	8	38	-	54	1	1	3	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	0.13	4.50	0.80	0.20	1.60	7.60	-	10.80	0.20	0.20	0.60	-	-	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-	-
秩 父	報告数 -	28	3	1	5	-	1	24	-	1	3	1	*	*	-	-	-	-	-	-	-	2
	-	5.60	1.00	0.33	1.67	-	0.33	8.00	-	0.33	1.00	0.33	*	*	-	-	-	-	-	-	-	2.00
本 庄	報告数 1	18	-	-	5	1	-	40	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.14	2.57	-	-	1.25	0.25	-	10.00	-	-	2.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数 4	57	4	8	36	34	3	104	1	8	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	0.36	5.18	0.57	1.14	5.14	4.86	0.43	14.86	0.14	1.14	6.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
加 須	報告数 -	54	-	2	9	4	-	76	-	1	5	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5
	-	5.40	-	0.33	1.50	0.67	-	12.67	-	0.17	0.83	0.17	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	5.00
春 日 部	報告数 3	78	8	8	70	32	-	122	-	5	9	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	0.30	7.80	1.33	1.33	11.67	5.33	-	20.33	-	0.83	1.50	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 1	155	8	14	79	12	9	110	-	1	11	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	0.07	11.07	0.89	1.56	8.78	1.33	1.00	12.22	-	0.11	1.22	0.22	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 2	72	3	2	24	49	-	66	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
	0.20	7.20	0.50	0.33	4.00	8.17	-	11.00	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13.00
草 加	報告数 2	221	1	11	34	52	2	80	4	1	25	2	1	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	0.11	11.63	0.08	0.92	2.83	4.33	0.17	6.67	0.33	0.08	2.08	0.17	0.33	-	*	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 3	167	25	20	99	46	1	104	-	3	12	2	4	6	-	-	-	-	-	-	-	3
	0.12	6.68	1.56	1.25	6.19	2.88	0.06	6.50	-	0.19	0.75	0.13	0.80	1.20	-	-	-	-	-	-	-	3.00
南 部	報告数 1	60	19	6	42	55	2	81	-	2	34	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	0.13	7.50	3.80	1.20	8.40	11.00	0.40	16.20	-	0.40	6.80	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
川 越 市	報告数 2	66	-	4	35	25	11	120	-	4	18	-	-	3	*	*	*	*	*	*	*	*
	0.14	4.71	-	0.50	4.38	3.13	1.38	15.00	-	0.50	2.25	-	-	1.50	*	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 -	104	-	7	22	45	5	63	-	7	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
	-	8.00	-	0.88	2.75	5.63	0.63	7.88	-	0.88	1.38	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	3.00
川 口 市	報告数 5	128	9	9	63	104	7	180	2	8	72	3	-	8	-	-	-	-	-	-	-	2
	0.26	6.74	0.75	0.75	5.25	8.67	0.58	15.00	0.17	0.67	6.00	0.25	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	2.00
さいたま市	報告数 -	161	13	11	46	176	18	470	1	20	85	5	-	19	-	-	1	-	-	-	-	5
	-	3.74	0.46	0.39	1.64	6.29	0.64	16.79	0.04	0.71	3.04	0.18	-	2.11	-	-	1.00	-	-	-	-	5.00

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

7月

2日

15:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第26週 6月24日～6月30日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	28	-	-	1	-	2	1	1	1	-	-	2	2	4	2	4	2	1	3	1	1
新型コロナウイルス感染症	1,754	14	23	40	31	12	16	13	12	11	19	12	149	165	206	184	202	235	160	151	99
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	115	22	23	35	15	14	4	1	1	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	126	-	11	41	30	13	8	6	8	-	2	2	3	1	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	664	-	3	40	36	67	77	80	61	63	48	49	108	8	24						
感染性胃腸炎	837	2	48	93	59	75	71	90	86	61	58	49	89	18	38						
水痘	68	1	1	6	4	3	8	6	4	7	7	7	14	-	-						
手足口病	2,027	23	183	764	411	248	207	105	36	14	8	6	14	-	8						
伝染性紅斑	11	-	-	1	1	-	-	2	4	1	-	-	2	-	-						
突発性発しん	70	-	13	41	9	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	425	1	20	127	93	63	48	32	19	9	4	4	3	2	-						
流行性耳下腺炎	20	-	-	-	1	-	5	5	3	2	1	3	-	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	5	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	
流行性角結膜炎	48	-	-	-	1	3	4	2	3	3	1	-	8	-	2	6	9	4	1	1	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
新型コロナウイルス感染症(入院)	44	1	1	2	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	1	6	30				

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第24週 (6月10日～6月16日)

令和6年7月3日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:**インフルエンザの定点当たり報告数は第12週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は茨城県(1.08)、沖縄県(0.91)、京都府(0.28)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は20例と前週と比較して減少した。都道府県別では14都道府県から報告があり、年齢別では1～9歳(4例)、20代(3例)、50代(2例)、60代(2例)、70代(6例)、80歳以上(3例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(18.11)、鹿児島県(8.58)、佐賀県(7.26)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,372例と前週と比較して減少した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢別では0歳(41例)、1～9歳(39例)、10代(17例)、20代(12例)、30代(35例)、40代(26例)、50代(75例)、60代(138例)、70代(305例)、80歳以上(684例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):**RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.30)、宮崎県(3.17)、山口県(2.86)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は岩手県(3.18)、北海道(2.64)、富山県(2.00)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(7.75)、福岡県(7.63)、北海道(7.58)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(15.64)、熊本県(7.42)、兵庫県(7.02)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は三重県(10.91)、石川県(10.59)、鹿児島県(10.41)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は青森県(0.46)、岩手県(0.45)、栃木県(0.34)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は三重県(2.11)、群馬県(1.92)、高知県(1.92)、香川県(1.75)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は滋賀県(0.17)、埼玉県(0.14)、千葉県(0.13)である。

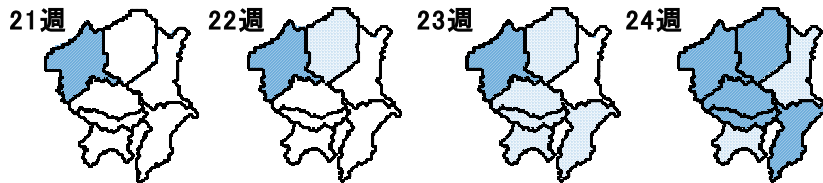
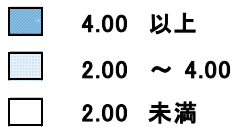
**基幹定点報告疾患:**マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.00)、香川県(1.40)、福井県(1.33)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。9都道府県から24例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(11例)、5～9歳(7例)、10代(4例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第24週(6月10日～6月16日):通巻第26巻 第24号より

## <関東情報>

手足口病の定点当たり報告数は、群馬県(9.94)からの報告が多い。

### 手足口病



2024年 24週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 753 定点当たり 0.15	359 0.23	129 1.08	3 0.04	21 0.25	38 0.15	29 0.14	81 0.19	58 0.16
新型コロナウイルス感染症	報告数 20,561 定点当たり 4.16	7,148 4.68	529 4.41	239 3.19	259 3.05	1,322 5.07	1,265 6.26	1,878 4.48	1,656 4.52
RSウイルス感染症	報告数 3,830 定点当たり 1.22	698 0.73	52 0.69	36 0.77	16 0.30	139 0.85	112 0.89	184 0.70	159 0.69
咽頭結膜熱	報告数 2,898 定点当たり 0.92	679 0.71	80 1.07	13 0.28	58 1.09	152 0.93	92 0.73	150 0.57	134 0.58
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 14,015 定点当たり 4.46	4,134 4.31	460 6.13	220 4.68	165 3.11	793 4.84	781 6.20	1,006 3.81	709 3.08
感染性胃腸炎	報告数 14,754 定点当たり 4.70	4,534 4.73	254 3.39	110 2.34	280 5.28	916 5.59	680 5.40	1,330 5.04	964 4.19
水痘	報告数 774 定点当たり 0.25	238 0.25	2 0.03	9 0.19	12 0.23	62 0.38	50 0.40	50 0.19	53 0.23
手足口病	報告数 14,863 定点当たり 4.73	3,876 4.04	157 2.09	221 4.70	527 9.94	702 4.28	519 4.12	1,076 4.08	674 2.93
伝染性紅斑	報告数 269 定点当たり 0.09	195 0.20	-	16 0.34	5 0.09	17 0.10	29 0.23	82 0.31	46 0.20
突発性発しん	報告数 1,003 定点当たり 0.32	316 0.33	15 0.20	20 0.43	34 0.64	47 0.29	32 0.25	83 0.31	85 0.37
ヘルパンギーナ	報告数 2,487 定点当たり 0.79	784 0.82	29 0.39	39 0.83	102 1.92	148 0.90	131 1.04	206 0.78	129 0.56
流行性耳下腺炎	報告数 222 定点当たり 0.07	90 0.09	-	2 0.04	1 0.02	23 0.14	16 0.13	22 0.08	26 0.11
急性出血性結膜炎	報告数 38 定点当たり 0.05	5 0.02	-	-	-	4 0.10	-	-	1 0.02
流行性角結膜炎	報告数 488 定点当たり 0.70	223 1.07	38 2.24	7 0.58	3 0.21	47 1.12	20 0.59	16 0.41	92 1.80
細菌性髄膜炎 #2	報告数 7 定点当たり 0.01	4 0.05	-	-	-	-	-	1 0.04	3 0.25
無菌性髄膜炎	報告数 15 定点当たり 0.03	4 0.05	-	-	-	-	-	1 0.04	3 0.25
マイコプラズマ肺炎	報告数 153 定点当たり 0.32	27 0.31	3 0.23	-	2 0.22	7 0.58	-	12 0.48	3 0.25
クラミジア肺炎 #3	報告数 1 定点当たり 0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 24 定点当たり 0.05	5 0.06	-	2 0.29	2 0.22	-	-	-	1 0.08

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

感染症発生動向調査  
2024年

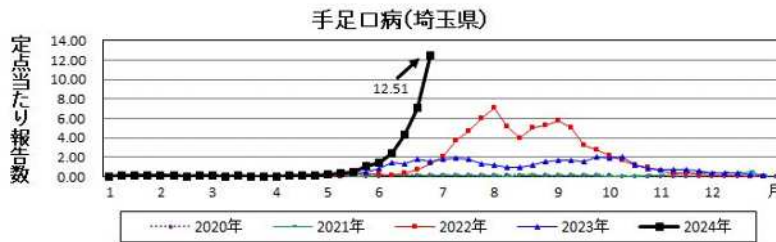
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

## 感染症の流行状況 2024年 第26週

2024年第26週（6月24日～6月30日）の要点

[手足口病](#)の定点当たり報告数は、前週から更に大きく増加し、県内全保健所管内で警報開始基準値の5.00を上回りました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	→	★	<a href="#">手足口病</a>	↑	★★★★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	↑	—	<a href="#">伝染性紅斑（りんご病）</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↓	★★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱（プール熱）</a>	↓	★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	↑	★★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↓	★★★★	<a href="#">流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★★
<a href="#">水痘（みずぼうそう）</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★★★★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）\*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

